

地域エネルギー政策の基本的方向

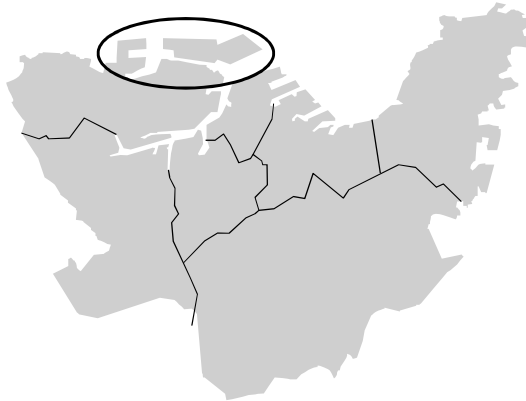


- これまでは、地球温暖化対策の視点から省エネ・新エネが中心
- 今後は、地域を支える視点から安定・安価なエネルギーも重要

- 環境未来都市にふさわしく、市民生活や産業活動を支える地域エネルギー政策

【基本的方向】

- ① 省エネルギー(ネガワット)の推進
- ② 再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成
- ③ 安定・安価で賢いエネルギー網の構築



響灘スマートインダストリ構想の推進



- 特に、響灘地区は、メガソーラー・風力などの再エネに適した地域
LNG、石炭などの大規模輸入基地
⇒ エネルギー拠点としてのポテンシャルが高い
また多様な産業も集積している

- このポテンシャルを活かし、産業版スマートグリッド(響灘スマートインダストリ)の実現を目指す

- ① 再生可能エネルギーの最大限導入
⇒ 洋上風力、メガソーラーの導入
- ② 再エネ大量導入を下支えする基幹エネの導入
⇒ LNGや最高効率石炭火力発電の立地
- ③ 様々なエネルギーを使いこなすシステムの構築
⇒ 東田地区の成果を活かしたCEMS導入
⇒ 工場廃熱等の地域内での効率的活用



- エネルギー拠点として、市内だけでなく、オール九州に貢献
- 技術の国際貢献